

300人の未知なる挑戦の舞台裏。

【vol.4】100年に一度のチャンスが福井にやってきた!!

2024
SUMMER

Produce by KAZUMA

Kazuma Co., Ltd.
105 Yamahisachi, Fukui-City, Fukui, 910-0123, JAPAN
TEL/FAX: (0776) 56-4006 / (0776) 56-4007



MOVE

熱気に包まれた中国深圳の展示会で
カズマの自然素材100%テキスタイルが大躍進。
今中国で求められていることは?

来場者
4日で20万人!



昨年、中国の広東省深圳市で開催された、約2000社が参加するホームテキスタイルの展示会に参加しました。このイベントの成功のカギを握っていたのが海外販路開拓の豊嶋さん。「カズマは中国に大きなチャンスがあります。長年築いてきたネットワークを生かして、今回このタイミングで新たな挑戦を仕掛けてみたい」と思ったんです。と決断したのがなんと開催の3か月前。他社にはないカズマの特長を出すために、近年力を入れている生分解性のあるテキスタイルを打ち出しています。中国は今、人口減少や経済の落ち込みなどを機に暮らしを見直す人が増えているため、「古来より中国文化を採り入れ独自に発展してきた日本文化を、今の中国では新鮮に受け止めてくれる方が多いのではと考えました」と豊嶋さん。そこでテーマは、「中

国では失われつつあり日本には大切に残されてきたもの。中国文化へのリスペクトを持ちつつ自然素材×日本文化をノスタルジックに表現することに。結果、ブース来場者は4日間で2000人超。かつてはヨーロッパの豪華なインテリアを好んでいた中国の人たちが、今は国民家再生がトレンドになり、中国古来の住宅スタイルに畳や襦ろなど日本スタイルとその精神性を正統な形で採り入れているという考えが増えています。次はぜひ上海などにも挑戦したいです。」次なる野望へ、着々と準備を始めている豊嶋さんなのでした。



商品は「和紙・竹・麻」など中国と日本文化を融合させたものを開発し、福井の工場ですべての工程を担った生地や「機械が扱えない」といわれる手作りの生地など、中国の展示場に備え付け、でも現地でも販売できるように4層に分けて梱包されています。

ブースの一角にライブスペースが!?

インフルエンサーがライブを展開できる専用スペースが各ブースに設置されています! カメラを持った方が思い通りに商品を手に取りながらライブを配信。すごいスピードで世界中に商品の魅力を広げてくれます。照明などの専用機材がすべてそろっているから楽い...



中国の生地を仕上げたい! 生地を仕上げたい!



和紙、竹、大麻などのカーテンはカズマオリジナルブランド「KURASIKU」でも取り扱っています



中国はとにかく大きい! 大きい! 大きい!

NEWS

インスタ企画
当選者
発表

“いないいないばあ”は魔法のおまじない。
インスタ企画「#カーテンでかくれんぼ」の
入賞者5名様を発表します!



第1回
改善
週間を
実施

工夫と改善の積み重ねからより
良いものづくりにつなげる
ための「改善週間」。



日頃の業務や働き方を自分たちで工夫し、もっと効率よく働きやすい環境を作っていくという目的で立ち上がった「改善週間」。その第1回目が開催されました。テーマは安全衛生、作業改善、出勤率、5S(整理・整頓・しつけ・清掃・清潔)など多岐にわたる。その中から工場のメンバー一人ひとりが案出しを行いました。

「工場を使う鉛筆が転がり生地に汚れがつくことがあったので、鉛筆に磁石をつけて机につくようにしたらどう?」「タッセルの完成サイズが規定通りか1本1本測るのに時間がかかるから、一目でサイズ感がわかる台紙を作ってみよう?」など、お客様に良い商品をお届けするための素晴らしいアイデアがたくさん出ました。優秀者には表彰も!

大人気!
恐竜柄が
新登場

恐竜とアウトドアを楽しもう!
特大ふわふわレジャーシート
に恐竜柄が新登場。



2mの広々サイズで2層構造の断熱機能付きレジャーシート「ムードラグ」に新柄が誕生。スピノサウルス、ティラノサウルス、モササウルス、トリケラトプス、ブラキオサウルス、そして福井で発見されたフクイプトル。子どもたちが大好きな全6種の恐竜たちが描かれています。その名も「恐竜とふくい」。恐竜好きの方にはたまらない新柄!ぜひ手にとってみてください。

EVENT

5/27(月)~
KURASIKUポップアップショップin南青山

自然素材100%のカーテンを展開する「KURASIKU」。今回は大人気の麻のほか和紙・竹・大麻など個性豊かな布がラインナップ。
【日時】5/27(月)~6/2(日) 10:00~17:00
【場所】ふくい南青山2911Fイベントエリア (東京都港区南青山5丁目4-1 グラッセリア青山)

6/9(日)
アウトドアイベント Good Chill Camp Vol.3

ゆる〜くのんびりとキャンプや遊びを楽しむ祭典! 雑貨やキャンプ用品、テント、展示、飲食店などが集まります! (アルコール類もあり)
【日時】6/9(日) 10:00~17:00
【場所】福井県総合グリーンセンター(福井県坂井市丸岡町東原15)

6/12(水)~
ててて商談会

日本のものづくりのやり手と伝手がつながるイベント。「ベネッセアート直島」へのデモを兼ねた刺繍雑貨&カーテンを展示。
【日時】6/12(水)~14(金) 11:00~19:00
【場所】スパイラルホール(東京都港区南青山5丁目6-23)

編集
後記

暖かい時期も過ぎいよいよ暑い夏がやってきますね。今回ご紹介したそば打ち体験。実は私の祖父も月1回そば教室に通っていたのですが、食卓に出されるそばを見て「なんでもおじいちゃんのそばは短くてボロボロしてんだろ?」と疑問に思っていました。が、今回の取材を通して、それがそば粉の比率が高いからで、技術的にも難しいものなのだと知ってスッパリ、おじいちゃん頑張ってるんだなと反省しました。

TateYoko Journal 2024 SUMMER
株式会社カズマ 〒910-0123 福井市八重巻町105 0776-56-4006
TateYoko creative shop

「NEW TRUTHプロジェクト」が開発した カズマ初☆屋外付けロールスクリーンカーテンが完成。



約2年前から水上哲也建築設計事務所さんの依頼で進めてきた、電動外付けロールスクリーンのプロジェクト。昨年施工したお宅が無事完成し、その後水上さんとの素晴らしい設計のおかげで「新築住宅特集2023.10月号」に掲載いただくことができました!

外付けロールスクリーンは、室内ではなく窓の外に取り付ける巻き付けタイプのカーテンで、プライバシーや採光性はもちろん、強い風や雨、日光などの過酷な環境に耐えられる耐久性が求められます。また、高い遮熱効果やシンプルなデザイン性、スマホで操作できる電動タイプを採用したいという水上さんからのリクエストも加わり、普段はさまざまな部署に所属するメンバーたちがカーテンメーカーのプライドをかけて挑んだ大きなプロジェクトとなりました。ものづくりが大好きなメンバーたちがミッション一つ一つをクリアしていく挑戦の軌跡は、リーダー浅井さんのコラム「外付けロールスクリーンの開発に挑んだ男たちの記録」でご紹介していますのでぜひご覧ください。

リーダー浅井さんが
作家並みに誇りつくす
開発軌跡はこちら



企画開発部 浅井 裕二
学生時代は機械工学を学び、カズマでは20年近く開発部を歩んでいく生粋のエンジニア。いつもニコニコしているが極めて繊細な性格と冷静な判断力を併せ持つリーダー。

管理 野津 貴広
15年もの間、組子らまや建築をつくる指図師をやっていたという黄色の服の持ち主。ものづくりの楽しさを伝えるための活動も積極的。

OEM事業部 石田 正英
人工知能AIやロボットの研究を経て、前職ではテレビやタッチパネル等の生産開発に携わりカズマに入社。プライベートでは写真撮影を趣味とする。

カーテンのカズマ店長 川崎 隆文
実家が家電店で電子工作マニアのDNAをもつサラブレッド。大学では電気工学を学び、現在は電気工事士。設備系を専攻するエンジニアとしての経験も豊富。



人工知能AIやロボットの研究を経て、前職ではテレビやタッチパネル等の生産開発に携わりカズマに入社。プライベートでは写真撮影を趣味とする。

(画像左) 開発を振り返らさせてもらって、お礼の言葉をありがとうございます。お礼の言葉をありがとうございます。

身体に良い越前そばから 環境問題を学ぼう。 二八そば作り体験。



社員の環境問題への意識を高めるために活動している「アースプロジェクト」の一環で今回企画されたそば作り体験。福井は、福井県産の越前そばの産地なんです! まずは環境活動家である中島さんの海洋プラスチック問題と健康に関する講演会。体内にはいつの間にかプラスチックが蓄積されているという現状を聞き、添加物のない体に良い食品選びのヒントが、そば、そば粉8割、小麦粉2割でつくった二八そばは初心者でもうちやずち、小麦粉を最小限に抑えているので体に良いんです。最後はわんこそば状態でそばを堪能して大満足の1日でした。

リネン・ラミー・ヘンプの手織りを見学。「近江ちぢみ麻」の伝統工芸に感動!



和紙や竹、大麻など、体にやさしく優れた機能性をもった自然素材のカーテンを開発しているKURASIKU。その活動の一環として今回、伝統工芸「近江ちぢみ麻」の手織りの産地、滋賀県栗東市へ伺いました。ご協力いただいたのは「伝統工芸館(滋賀県文化財)」。ワークショップの一環としてリネンやラミーを織り出した商品開発もされています。また、館内では近江上布への理解と技術の継承、人材育成を目的としたさまざまな展示も、町全体で伝統産業を守り取り組まれていることを知り、とても感動しました。